

事業シート(平成29年度決算)

事業名	21800 環境都市推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・高山市の保有する森林資源、自然資源(太陽、水、温泉、雪、風、他)などを活用し、原子力エネルギーに頼らない、日本一の自然エネルギー活用都市(飛騨高山モデル)を目指します。
						款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
						項	1	総務管理費		施策概要	5	自然エネルギーを活かしたまちづくり		
						目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課			内線	2283									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地球環境の保全と市民の環境意識の向上及び具体的な行動や参画を図る。	概要	・環境審議会の開催 ・高山市自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催 ・市民等による自然エネルギー利用の普及啓発
----	------------------------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	23,712MWh	未確定	80,000MWh
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合	29.7%	29.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		5,773	4,751	4,023	4,023	2,914
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他 ()					
一般財源		5,773	4,751	4,023	4,023	2,914
個票枝番	主な事業内容					
	環境審議会	273	173	273	273	164
	自然エネルギーによるまちづくり検討委員会	940	645	940	940	702
	森のエコハウス施設修繕	2,250	1,733	500	500	29
	自然エネルギー利用の普及啓発	2,000	1,987	2,000	2,000	1,881

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	5,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
2,117	2,023	2,023	△ 2,000
			0
			0
			0
2,117	2,023	2,023	△ 2,000
査定額	説明		
273			
940			
500			
	民間主導の活動へ移行		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(3回) ・高山エネルギー大作戦フォーラムの開催(参加者155人) ・公共施設における木質バイオマスによる熱供給事業者を公募し決定
評価等	・自然エネルギーによるまちづくりの実現に向けて、エネルギーや環境問題に関心を持つ市民、事業者を増やしていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・自然エネルギー利用日本一の環境都市をめざし、自然エネルギーの導入と省エネルギー対策の推進を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・環境審議会の開催(2回) ・自然エネルギーによるまちづくり検討委員会の開催(3回) ・高山エネルギー大作戦フォーラム等の開催(参加者252人) ・公共施設における木質バイオマスによる熱供給事業を開始
評価等	・公共施設における木質バイオマスによる熱供給事業を開始することができた。熱供給事業のモニタリングを行うとともに、他の公共施設への導入を検討する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・自然エネルギー利用日本一の環境都市をめざし、自然エネルギーの導入と省エネルギー対策の推進を図る。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・自然エネルギー利用と普及啓発の推進
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	21810 森林づくり交流推進事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
					款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
					項	1	総務管理費		施策概要	4	低炭素社会の形成		
					目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画、高山市地球温暖化対策地域推進計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・都市部の自治体や企業等との交流を通じて森林保全を行うとともに、都市部での地元産材の利用拡大や二酸化炭素削減につなげる。	概要	・都市部の自治体や企業とのカーボンオフセット事業を推進するとともに、交流・連携を図る。 ・地元産材の活用を促進するため、「みなとモデル二酸化炭素固定認証制度」の活用や都市部自治体等へのPRを図る。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5万トン	未確定	11.7万トン

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		5,300	3,135	5,350	5,350	1,636
特定財源	国費()					
	県費(森林づくり交流推進事業費 68/100)	3,000	1,838	3,000	3,000	878
	その他(カーボンオフセット事業費負担金)	1,000	587	1,000	1,000	284
一般財源		1,300	710	1,350	1,350	474
個票枝番	主な事業内容					
	千代田との協同による森づくり(カーボンオフセット)	5,150	3,049	5,200	5,200	1,481
	みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進	150	86	150	150	155

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	5,300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
2,950	2,850	2,850	△ 2,500
			0
1,700	1,700	1,700	△ 1,300
400	400	400	△ 600
850	750	750	△ 600
査定額	説明		
2,700			
150			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 15.08ha) ・みどりふれあうフェスティバルへの出展 ・みなと森と水ネットワーク会議への参加
評価等	・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における市産材の供給実績が上がらないため、制度の検証と見直しを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・CO2吸収量の拡大を図るため、引き続き森林整備を行うとともに、民間レベルの相互交流を促進する。 ・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における市内木材供給の拡大につながる取り組みを進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・千代田区との協定による森林整備(保育間伐 7.17ha) ・みどりふれあうフェスティバルに出展 ・みなと森と水ネットワーク会議に参加
評価等	・千代田区との協定に基づく森林整備については、森林の生育状況を考慮し、利用間伐から保育間伐に変更し実施した。引き続き、現地の状況を確認し、適切な森林整備によるカーボンオフセット事業を進める。
次年度以降の考え方(担当課)	・CO2吸収量の拡大を図るため、引き続き森林整備を行うとともに、民間レベルの相互交流を促進する。 ・みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における市内木材供給の拡大につながる取り組みを進める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・千代田区との協定に基づくカーボンオフセット事業の実施 ・港区とのみなとモデル二酸化炭素固定認証制度の推進

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
						款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
						項	1	総務管理費		施策概要	5	自然エネルギーを活かしたまちづくり		
						目	19	環境政策費		根拠計画		高山市環境基本計画		
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・自然エネルギーの利用による暮らしの豊かさを実感できるまちづくりを推進する。	概要	・市民や事業者による木質バイオマスなどの新エネルギー設備の導入を促進する。
----	--	----	---------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
自然エネルギーによる電力の創出量(年間)	23,712MWh	未確定	80,000MWh
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5万トン	未確定	11.7万トン

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		109,400	18,513	45,400	45,400	9,164
特定財源	国費()					
	県費(自然エネルギー普及促進事業費 1/2)		4,791			
	その他(預託金元金収入、飛騨高山ふるさと基金繰入金)	69,800	1,810	21,700	21,700	1,100
一般財源		39,600	11,912	23,700	23,700	8,064
個票枝番	主な事業内容					
	木質バイオマス活用促進事業補助金	30,000	6,864	15,000	15,000	6,265
◎ 1	未利用間伐材の搬出促進	2,000	1,782	6,000	5,999	2,890
	地域団体の自然エネルギー活用支援	67,400	1,000	24,400	24,400	0
	小水力発電アイデアコンテストの開催	1,000	1,000			
	木質バイオマス熱供給ビジネスセミナーの開催	9,000	7,843			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・ペレットストーブ等導入台数 74件 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 282t ・地域団体の自然エネルギー活用支援 1件 ・小水力アイデアコンテストの開催 参加者228人 ・木質バイオマス熱供給ビジネスセミナーの開催 13回 258人
評価等	・積まマイカーの運行によって地域の未利用材を活用しエネルギーの地産地消を促進することができた。 ・自然エネルギーによる発電事業については、売電収入による地域課題の解決が期待できるが、送配電設備の容量不足により事業を進められない状況にある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・ペレットストーブ等導入台数 67台 ・積まマイカーによる未利用間伐材収集量 648t ・公共施設における木質バイオマス熱供給事業の導入(しぶきの湯、桜香の湯)
評価等	・積まマイカーの運行によって地域の未利用材を活用しエネルギーの地産地消を促進することができた。 ・自然エネルギーによる発電事業については、送配電設備の容量不足により事業を進められない状況にある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・民間施設における木質バイオマス熱供給事業の普及を促進し、木質バイオマスの需要拡大を図る。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	114,400
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
45,400	45,400	45,400	0
			0
			0
20,000	22,300	22,300	600
25,400	23,100	23,100	△ 600
査定額	説明		
15,000			
6,000			
24,400			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・自然エネルギーの活用促進
担当課予算要求ポイント	・エネルギーの地産地消を目的とした木の駅と燃料加工所を結ぶ「積まマイカー」の運行 ・ペレット、薪ストーブ・ボイラーの導入に対する助成 ・地域主導による自然エネルギーの活用支援

財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	21820 自然エネルギー普及促進事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策部 環境政策推進課
			☒ H29拡充	☐ H30拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 未利用間伐材の搬出促進		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2283
			☐			目	19	環境政策費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・未利用間伐材(林地残材)を利用した木質バイオマス燃料の市内への安定供給により、エネルギーの地産地消による地域内経済循環を図る。	概要	・市内各所に開設されている「木の駅」に集まった間伐材を収集し、エネルギー原料加工所に運搬する。
----	--	----	---

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	2,000
	繰越	
	補正等	
	最終	2,000
決算額		1,782
対前年度増減額(決算)		1,782

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・木の駅の開設 7か所		
・エネルギー原料加工所登録数 2か所		
・収集運搬回数 58回		
・収集運搬量 282t		
[評価]		
・木の駅プロジェクトによって集められた未利用間伐材が、ペレットに加工され市内小中学校のペレットストーブの燃料として供給されるなど、エネルギーの地産地消につながった。		
次年度以降の考え方(担当課)	・より多くの間伐材を収集するため、木の駅の開設と運行回数を拡充する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	・間伐材収集運搬委託	
対前年度増減額(当初予算)		4,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・木の駅に集められた間伐材の収集運搬	
収集運搬回数 126回、収集運搬量500t	
[スケジュール]	
・H29.10月 木の駅開設(荏川町)	
・H30.3月 木の駅開設(高根町)	

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	6,000
	繰越	
	補正等	△ 1
	最終	5,999
決算額		2,890
対前年度増減額(決算)		1,108

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・木の駅の開設 7か所		
・エネルギー原料加工所登録数 2か所		
・収集運搬回数 83回		
・収集運搬量 648t		
[評価]		
・木の駅プロジェクトによって集められた未利用間伐材が、ペレットに加工され市内小中学校のペレットストーブの燃料やしぶきの湯の熱電併給施設の燃料として供給され、エネルギーの地産地消につながった。		
次年度以降の考え方(担当課)	・木質バイオマスによるエネルギーの地産地消をすすめる取組みとして、木の駅プロジェクトを促進する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	6,000
主な経費	・間伐材収集運搬委託	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・木の駅に集められた間伐材の収集運搬	
収集運搬回数 126回、収集運搬量1000t	
[スケジュール]	

事業シート(平成29年度決算)

事業名	21840 地球温暖化対策事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	・緊急時に利用される避難所などにおいては、太陽光発電設備などの整備を進めます。
						款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
						項	1	総務管理費		施策概要	4	低炭素社会の形成		
						目	19	環境政策費		根拠計画	高山市環境基本計画、高山市地球温暖化対策地域推進計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課			内線	2283									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・クリーンエネルギー自動車の普及促進などにより低炭素社会の形成を図る。	概要	・電気自動車用充電設備の設置によるクリーンエネルギー自動車の普及促進
----	-------------------------------------	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
二酸化炭素(CO2)削減量(年間)	5万トン	未確定	11.7万トン
化石燃料から自然エネルギーへの転換量(年間)	3,642kl	未確定	7,700kl

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		5,700	4,917	6,150	6,150	5,324
特定財源	国費()					
	県費()					
	その他()					
一般財源		5,700	4,917	6,150	6,150	5,324
個票枝番	主な事業内容					
	電気自動車用急速充電器の設置・運営	5,700	4,917	6,150	6,150	5,324

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	6,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
9,455	6,150	6,150	0
			0
			0
			0
9,455	6,150	6,150	0
査定額	説明		
6,150			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・電気自動車用急速充電器の設置(1か所) ・急速充電器利用台数 2,577台	
評価等	・民間との連携(E-OASISプロジェクト)により、道の駅ななもり清見に急速充電器を設置した。	
次年度以降の考え方(担当課)	・民間事業者との連携により、道の駅への急速充電器の設置を進める。 ・燃料電池自動車の普及促進として、水素ステーションを市内に誘致する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・電気自動車用急速充電器の設置(2か所) ・急速充電器利用台数 3,066台	
評価等	・民間との連携により、道の駅モンデウス飛騨位山・飛騨たかね工房に急速充電器を設置した。	
次年度以降の考え方(担当課)	・燃料電池自動車の普及促進として、水素ステーションの市内誘致を進める。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	・自然エネルギーの活用促進
担当課 予算要求 ポイント	・電気自動車用急速充電器の維持管理 ・住宅の低炭素化の促進による家庭部門からのCO2排出量の削減

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

事業名	21850 生物多様性保全推進事業費				予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
						款	2	総務費		個別分野	1	地球環境		
						項	1	総務管理費		施策概要	3	生物多様性の保全		
						目	19	環境政策費		根拠計画		高山市環境基本計画、生物多様性ひだたかやま戦略		
担当課	環境政策部 環境政策推進課	内線	2283											

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・その土地本来の生態系の保全や里地里山の保全と利用の推進などにより、生物多様性の保全を図る。	概要	・自然環境学習や山の自然学校による自然保護の必要性の啓発や自然と親しむ機会の提供 ・土地本来の木を植樹する「いのち森づくり」の実施 ・特定外来生物に関する知識の普及や防除活動の実施
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
特定外来生物防除活動団体数	24団体	未確定	35団体
特定外来生物防除活動参加者数(延べ人数)	598人	未確定	1,200人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		9,155	6,560	13,205	13,205	9,509
特定財源	国費 ()					
	県費 (生物多様性保全推進事業費補助金 10/10)	2,800	2,321	2,000	2,000	5,000
	その他 ()					
一般財源		6,355	4,239	11,205	11,205	4,509
個票枝番	主な事業内容					
	乗鞍山麓五色ヶ原の森を活用した自然環境学習	3,500	2,915	3,500	3,500	2,262
	いのちの森づくり(苗木植樹等)	1,700	840	1,700	1,700	796
◎	1 特定外来生物(オオハングソンウ等)の防除・啓発	3,500	2,429	7,550	7,550	5,986

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	9,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
10,136	10,185	10,185	△ 3,020
			0
4,000	4,000	4,000	2,000
			0
6,136	6,185	6,185	△ 5,020
査定額	説明		
3,500			
1,700			
4,550			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・自然環境学習の開催 20校 968人 ・山の自然学校の開催 5回 115人 ・いのちの森づくり植樹の実施 30人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 10回 302人
評価等	・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来植物講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な取り組みにつながるような働きかけを進める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・自然環境学習の開催 17校 853人 ・山の自然学校の開催 6回 162人 ・いのちの森づくり植樹の実施 37人 ・特定外来生物講習会、出前講座の開催 9回 250人 ・オオハングソンウ等の防除手法実証実験の実施
評価等	・乗鞍山麓五色ヶ原の森等を活用した自然環境学習を市内小中学校が積極的に行った。 ・特定外来植物講習会や出前講座により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。 ・オオハングソンウの防除実証実験により、除草剤の防除効果を確認できた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・引き続き自然環境学習の機会を提供するとともに、市民による主体的な取り組みにつながるような働きかけを進める。

施策の実施方針	・生物多様性保全の推進
担当課 予算要求 ポイント	・地域の講師による自然環境学習の実施 ・生態系保全のための特定外来植物の防除

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	21850 生物多様性保全推進事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策部 環境政策推進課
			☒ H29拡充	☐ H30拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 特定外来生物(オオハングソンウ等)の防除・啓発		☐ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2283
			☐			目	19	環境政策費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市が指定する外来植物の駆除活動	概要	・企業連合体や環境美化を目的に活動する団体等に対する奨励金 ・重点区域における防除委託
----	------------------	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	3,500
	繰越	
	補正等	
	最終	3,500
決算額		2,429
対前年度増減額(決算)		△ 690

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・特定外来生物講習会、出前講座の開催 10回 302人		
・除去量に応じた奨励金交付 4団体 除去量5,630kg		
・重点区域の防除(小鳥湿原、乗鞍) 除去量3,330kg		
[評価等]		
・特定外来生物講習会や奨励金の交付により、民間団体や町内会の自主的な防除活動につながった。		
次年度以降の考え方(担当課)	・講習会や出前講座を通じて、市民による主体的な取り組みに繋がっていく。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	7,550
主な経費		
	・奨励金等	
	・防除	
	・防除実証実験	
対前年度増減額(当初予算)		4,050

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・奨励金等 講習会開催 除去量に応じた奨励金	
・防除 重点区域の防除(小鳥湿原、乗鞍)	
・防除実証実験 オオハングソンウ等の防除に有効な手法を検討するための実証実験	
[スケジュール]	
6月 特定外来生物講習会、出前講座の開催	
7月 重点区域の防除実施、実証実験の実施	

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	7,550
	繰越	
	補正等	
	最終	7,550
決算額		5,986
対前年度増減額(決算)		3,557

事業実績、評価等		
[事業実績]		
・特定外来生物講習会、出前講座の開催 9回 250人		
・除去量に応じた奨励金交付 3団体 除去量 4,730kg		
・重点区域の防除(小鳥湿原、乗鞍、せせらぎ渓谷) 除去量 4,110kg		
・防除実証実験 オオハングソンウ等の防除に有効な手法を検討するための実証実験		
[評価等]		
・防除実証実験では、除草剤による駆除は、作業時間を短縮しつつ、掘り取りと同程度の効果が得られることを確認できた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・オオハングソンウの新たな防除手法を重点区域での防除に活用するとともに、講習会で周知し、市民による取り組みにも繋げる。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	4,550
主な経費		
	・奨励金等	
	・防除	
対前年度増減額(当初予算)		△ 3,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・奨励金 講習会開催 奨励金の交付要件見直し	
・防除 重点区域の防除(小鳥湿原、中部国立公園、せせらぎ渓谷県立自然公園)	
・防除手法の検証 各手法による除去後の生育状況や地下茎の状況確認	
[スケジュール]	
4月 防除手法の検証 奨励金の交付要件見直し	
6月 特定外来生物講習会、出前講座の開催	
7月 重点区域の防除実施	

事業シート(平成29年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約	
					款	6	商工費		個別分野	1	地球環境		
					項	2	観光費		施策概要	1	自然環境の保全と活用		
					目	3	自然公園費		根拠計画	高山市環境基本計画			
担当課	環境政策部 環境政策推進課			内線	2284								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・地域特有の自然資源や希少動植物、自然公園等の保全と利用の推進などにより自然環境の保全と活用を図る。	概要	・国立公園、県立自然公園等の適正利用やユネスコ世界自然遺産、ジオパーク、ユネスコエコパークの取り組みを進める。 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森や既設の登山道、自然公園施設の維持管理を行うことにより、適正な利用と利用者の安全確保を図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標		H28実績	H29実績	H31目標
「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ地球環境を守る取組が進んでいる」と感じている市民の割合		29.7%	29.5%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		86,971	74,277	223,326	223,326	124,250
特定財源	国費 (地方創生拠点整備交付金)				57,453	0
	県費 (乗鞍スカイライン道路パトロール事業委託金10/10 等)	17,010	15,444	22,010	22,010	13,194
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	7,300	5,930	42,100	42,100	24,400
一般財源		62,661	52,903	159,216	101,763	86,656
個票枝番	主な事業内容					
	乗鞍山麓五色ヶ原の森の保全・管理	22,781	19,918	18,481	18,481	28,925
◎ 1	乗鞍山麓五色ヶ原の森 新規ルートの整備	7,050	3,182	128,091	128,091	39,108
	乗鞍スカイラインの適正利用の推進	33,420	30,535	33,420	33,420	33,703
	エコパークの推進	580	705	1,020	1,020	1,010
◎ 2	ジオパークの推進	5,500	4,100	12,000	12,000	12,000
	登山道管理	16,330	14,578	29,330	29,330	8,752
	「山の日」制定記念イベントの開催	800	628	420	420	500

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	60,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
139,734	112,806	112,806	△ 110,520
			0
27,002	27,050	27,050	5,040
	10,800	10,800	△ 31,300
112,732	74,956	74,956	△ 84,260
査定額	説明		
24,971	指定管理料、木道修繕工事等		
5,241			
36,680	適正化協議会負担金等		
1,000			
14,500	飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金		
29,330	山岳トイレ整備に対する助成等		
420			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 2,512人 ・乗鞍スカイラインの入り込み推計 115,599人 ・乗鞍フォーラムを開催し、約150人が参加 ・山の日制定記念ガイドツアーを開催し、186人が参加
評価等	・自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 ・国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携を強化し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。 ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者増加につながる取り組みを進める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について利用者増加につながる具体的な取り組みを行う。 ・乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 ・ジオパークについては、飛騨山脈ジオパーク推進協議会や関係団体と連携を図りながら、地域での自主的かつ積極的な活動を促進し、日本ジオパーク認定を目指す。 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check)

事業実績	・乗鞍山麓五色ヶ原の森の入り込み 1,957人 ・乗鞍スカイラインの入り込み推計 104,316人 ・乗鞍フォーラムを開催し、約120人が参加 ・乗鞍早期開通事業を開催し、1,202名が参加 ・山の日制定記念ガイドツアーを開催し、92人が参加
評価等	・自然環境保全と地域振興のバランスを考慮した事業を推進する必要がある。 ・国、県に対する管理財源確保への働きかけや関係団体等との連携を強化し、市の財政的負担の軽減を図る必要がある。 ・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森の利用者減少が続いているため、国、県、地域と連携を図りながら入り込み増加につながる取り組みを進める必要がある。 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森新ルート整備にあたり、国交付金の採択を受け、財源を確保することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・乗鞍スカイラインや乗鞍山麓五色ヶ原の森について利用者増加につながる具体的な取り組みを行う。 ・乗鞍については、地域振興と環境保全のバランスを考えながら、乗鞍自動車利用適正化方針に基づき事業展開するとともに、課題解決に向けて検討を進める。 ・ジオパークについては、飛騨山脈ジオパーク推進協議会や関係団体と連携を図りながら、地域での自主的かつ積極的な活動を促進し、日本ジオパーク認定を目指す。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	・ユネスコエコパークの活用 ・ジオパークの推進 ・乗鞍岳・五色ヶ原の利用促進
担当課 予算要求ポイント	・乗鞍岳、五色ヶ原の森等の市民利用促進 ・日本ジオパーク認定に向けた飛騨山脈ジオパーク推進協議会の支援 ・白山ユネスコエコパークの市民理解醸成 ・乗鞍山麓五色ヶ原の森新ルートオープンに向けた準備

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策部 環境政策推進課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	6	商工費		
枝番・内容	1 乗鞍山麓五色ヶ原の森 新規ルートの整備		☒ その他重要事業			項	2	観光費	内線	2284
			☐			目	3	自然公園費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・乗鞍山麓五色ヶ原の森における新たな魅力の創出や市内外への五色ヶ原の森の再発信により、利用者の増加につなげる。	概要	・新ルート整備に伴う山小屋、歩道等の整備 他
----	---	----	------------------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	7,050
	繰越	
	補正等	
	最終	7,050
決算額		3,182
対前年度増減額(決算)		269

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	128,091
主な経費	・山小屋建設工事	
	・歩道整備工事	
	・管理用及び緊急時用道路整備工事	
対前年度増減額(当初予算)		121,041

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	128,091
	繰越	
	補正等	
	最終	128,091
決算額		39,108
対前年度増減額(決算)		35,926

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	5,241
主な経費	・新ルートガイドブック、パンフレットの作成	
	・新ルート各種看板整備 等	
対前年度増減額(当初予算)		△ 122,850

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等		
[事業内容]		
・山小屋の設計 ・ルート調査の実施 等		
[評価等]		
・原生林や白川、黒川などの溪流、旧登山道の痕跡などを巡る新たな登山道の調査を行うことができた。 ・山小屋の設計にあたっては、マイクロ水力発電による電力使用やバイオトイレの採用など、これまでの五色ヶ原の森の山小屋のコンセプトを守りつつも、経費節減に努めた。		
次年度以降の考え方(担当課)	・自然環境へ最大限配慮しながら新ルートの山小屋建設や歩道整備を実施する。	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール		
[事業内容]		
・山小屋建設工事 休憩室及びトイレ整備 1棟 電気幹線設備 L=1,800m 取水設備給水配管敷設工事 L=450m 山小屋機械設備排水処理設備(バイオトイレ) ・歩道整備工事 歩道整備工事 L=6,000m ・管理用及び緊急時用道路整備工事 管理用及び緊急時用道路整備工事 L=3,000m、W=3.5m ・監理業務委託		
[スケジュール]		
・6月以降に各工事発注 ・11月末までに工事完了		

事業実績・評価等		
[事業内容]		
・山小屋建設工事 発注済(平成30年度へ繰越) ・歩道整備工事 発注済(平成30年度へ繰越) ・管理用及び緊急時用道路整備工事 一期工事完了 二期工事発注済(平成30年度へ繰越) ・監理業務委託 発注済(平成30年度へ繰越)		
[評価等]		
・アクセス道路の豪雨災害等により、工事着手が遅れ、年度内の工事完了ができなかった。		
次年度以降の考え方(担当課)	・繰越事業の着実な完了及び新ルートオープンに向けた運営体制の確立	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☒ H30完了予定

事業内容、スケジュール		
[事業内容]		
・新ルートガイドブックの作成 ・新ルートパンフレットの作成 ・新ルート各種看板の整備 他 ・繰越事業の推進 (山小屋、歩道、管理用及び緊急時用道路整備工事)		
[スケジュール]		
・ガイドブック、パンフレットの作成 5～3月 ・各種看板の整備 6～11月 ・繰越事業の推進 4～12月		

主要事業個票(平成29年度決算)

事業名	62300 自然公園等管理事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	環境政策部 環境政策推進課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	6	商工費		
枝番・内容	2 ジオパークの推進		☒ その他重要事業			項	2	観光費	内線	2284
			☐			目	3	自然公園費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・当市の優れた自然環境の積極的な保全・将来への伝承を図る。	概要	・日本ジオパーク登録認定を目指した推進体制づくりや認定申請に向けた取組み
----	-------------------------------	----	--------------------------------------

【参考】H28決算(Do・Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	5,500
	繰越	
	補正等	
	最終	5,500
決算額		4,100
対前年度増減額(決算)		2,983

【参考】H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	12,000
主な経費	・飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		6,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	12,000
	繰越	
	補正等	
	最終	12,000
決算額		12,000
対前年度増減額(決算)		7,900

H30当初予算(Action) H30.5時点 (千円)

予算額	当初	14,500
主な経費	・飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		2,500

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業内容]		
・飛騨山脈ジオパーク推進協議会設立 飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金 事務所移転準備 等		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・民間主導での協議会運営に 向けた支援の強化	☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金 ジオツアー、フォーラムの開催 ジオサイトマニュアルの作成 出前講座の開催 等	
[スケジュール]	
・飛騨山脈ジオパーク推進協議会への負担金支出 5月 ・飛騨山脈ジオパーク推進協議会との連携 随時 ・飛騨山脈ジオパーク推進行政関係機関連絡会議の開催 12月	

事業実績、評価等	
[事業内容]	
・飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金 主な実施事業 協議会活動(総会、運営委員会等の開催) 日本ジオパークネットワーク活動 地域活動 ジオツアーの開催 5回 フォーラムの開催 1回 広報たかやま連載 11月1日号～ 出前講座の開催 47回(延べ1,094人)	
[評価等]	
・出前講座等積極的な活動が行われたが、さらなる地域への普及啓発 に取り組み、気運を高める必要がある。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・民間主導での協議会運営に 向けた支援の強化及び運営体 制の強化に対する支援 ☐ 維持・改善 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	
・飛騨山脈ジオパーク推進協議会負担金 組織体制の強化 ジオツアーの開催 認定申請に向けた各種調査、整理 等	
[スケジュール]	
・飛騨山脈ジオパーク推進協議会との連携 随時 ・飛騨山脈ジオパーク推進行政関係機関連絡会議の開催 随時	